

新生児医療連絡会 2026 年第 1 回役員会 議事録

日 時：2026 年 4 月 13 日(月) 18:00～19:30

形 式：Web 会議形式

(議題中すべて敬称略)

- ・役員 29 名中、26 名が出席した。

I. 報告事項

0. メディカ出版の状況報告（事務局）

- ・さる 3/13(金)に事務局委託先のメディカ出版が不正アクセス被害にあい、システム障害および情報漏洩が発生したとの報告があった。
- ・事態発覚後、ただちに外部セキュリティ専門家と連携し一連の不正アクセスに対する基本的な初動態勢をいち早く確立した。翌週には個人パソコンの感染チェックが行われ、事務局 PC の安全性が担保されたためメール業務が再開された。連絡会資産の安全についても確認できたことが報告された。
- ・暗号化され漏洩されたとみられる情報のなかには、連絡会会員の個人情報（勤務先、メールアドレス、会費支払状況など）も含まれていたが、現時点で会員の方からの被害連絡は届いていない。各種資料については 2025 年 8 月時のバックアップデータを取得できたので、データの復旧を進める。
- ・上記のとおり事務局から報告された。問い合わせがあれば個別に事務局に照会することとし全体の場での質疑は割愛した。

1. 会員状況（2026 年 4 月 13 日現在）（杉浦 弘）

- 1) 会員数 476 名 （前回 486 名 入会申請 8 名、退会者 18 名）
- 2) NICU 代表 243 施設 （前回 248 施設）
 - ・上記のとおり報告された。

2. 厚生労働省医系技官出向の件（杉浦 弘）

- 1) 出向者決定
 - ・置塩 英美（医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室）
- 2) 今後に向けて
 - ・上記のとおり置塩先生の出向が決定したことが報告された。本人からのご挨拶があった。2 年後の出向候補者については継続的に審議する。

3. NHK からの取材・放送報告（徳久琢也）

- ・かねてより取材を受けていた NHK において、以下の番組で新生児医療が取り上げられたことが報告された。

1月9日(金)朝 ニュース番組「おはようにつぼん」

2月5日(木)昼 情報番組「ニュースーン」

4. 創立40周年記念誌（荒堀仁美）

1) 過去の発行実績（1985年5月設立）

- ・2007年7月 創立20周年記念誌 発行
- ・2016年5月 創立30周年記念誌 発行
- ・2025年 創立40周年記念誌 発行準備

2) 制作委員会メンバー

猪俣 慶、祝原賢幸、寺澤大祐、藤岡一路、置塩英美、豊 奈々絵（Quota 幹事）
徳久琢也、杉浦 弘、荒堀仁美（執行部）

3) 目次案（著者約30名、総ページ数90ページ程度）

第1部 創立からの歩み

第2部 この10年を振り返る

第3部 各地域・施設における新生児医療のいま

第4部 新生児医療を取り巻く未来

4) 発行計画

- ・2025年11月 制作委員会にて目次を決定し執筆依頼を発出
- ・2026年3月 原稿締切
- ・2026年11月 発行予定（記念懇親会の開催を検討）
- ・[原稿の脱稿状況が報告された。](#)

5. 2026年の予定（杉浦 弘）

1) 第1回役員会 4月13日(月) Web 会議形式

2) 第2回役員会／第1回総会 7月13日(月) 横浜
(第62回日本周産期・新生児医学会学術集会2日目)

3) 第3回役員会／第2回総会 11月21日(土) 横浜
(第70回日本新生児成育医学会・学術集会2日目)

- ・[上記のとおり報告された。](#)

Ⅱ．協議事項

1. 2025 年度会計報告（荒堀仁美）

- ・ 2025 年度の単年度収支は 1,330,216 円の黒字となり、次年度繰越金は 14,588,888 円となったことが報告された。監事による監査も実施された。
- ・ 2025 年度第 1 回総会では、厚生労働省との連携強化を目的とした出張業務に対して旅費・宿泊費を会計から支給できるように会則が変更され、今後ロビー活動を充実させていくことが連絡会にとって重要となることを本会議で共有した。

2. 新入会（2025/11/14～2026/4/12）（杉浦 弘）

- 26/02/13 小西 悠平（近畿大学病院 NICU 部）
- 26/02/25 谷本 愛子（順天堂大学医学部附属浦安病院 小児科）
- 26/03/06 金井 雄（筑波大学医学医療系）
- 26/03/26 川畑 建（埼玉県立小児医療センター 新生児科）
- 26/04/02 加藤 晋（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児科）
- 26/04/02 室賀 千佳（鳥取大学医学部附属病院 小児科）
- 26/04/04 丸山 秀彦（高知医療センター 小児科）
- 26/04/06 中山 淳（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 小児保健科）
- ・ 上記の新入会者が承認された。

3. 幹事・都道府県代表の交代（杉浦 弘）

1) 幹事

近畿幹事

- ・ 河井 昌彦（京都大学医学部附属病院）⇒藤岡 一路（神戸大学医学部）

2) 都道府県代表

栃木県

- ・ 河野 由美（自治医科大学）⇒渡部 功之（獨協医科大学）

埼玉県

- ・ 國方 徹也（埼玉医科大学病院）⇒難波 文彦（埼玉医科大学総合医療センター）

京都府

- ・ 河井 昌彦（京都大学医学部附属病院）⇒木下 大介（京都第一赤十字病院）

広島県

- ・ 福原 里恵（県立広島病院）⇒中田 裕生（同左）

高知県

- ・ 中田 裕生（高知医療センター）⇒三浦 紀子（高知大学医学部附属病院）

- ・上記の変更が承認された。

4. Quota 幹事 (杉浦 弘)

1) 現 Quota 幹事

- ・ 50 歳未満 (4 名) 祝原 賢幸・寺澤 大祐 2 名欠員
- ・ 女性 (2 名) 置塩 英美・豊 奈々絵
- ・ 地域周産期 (2 名) 2 名欠員

2) 元 Quota 幹事

- ・ 執行部選出 荒堀 仁美
- ・ 地域ブロックに移行 猪俣 慶・藤岡 一路

3) 今 後

- ・ Quota から地域ブロックに移行した場合は、その都度新 Quota 幹事を選出することになっていた。
- ・ 会員から自薦他薦を募り、次回 7 月の役員会を目途に候補者を決定する。

5. 40 周年記念懇親会企画

1) 幹事の選出

- ・ 担 当 : Quota 幹事、執行部
- ・ 業 務 : 会場決定、招待者の決定、当日の式次第作成など
※事務的業務は事務局が担当

2) 概 要

- ・ 日 時 : 2026 年 11 月 21 日(土)の総会当日を検討中
- ・ 会 場 : 横浜パシフィコノース近辺で、総会会場兼懇親会会場を検討
※総会会場として、11/21(土)18~20 時で 3F 第 5 会場が内定済

- ・ 創立 30 周年記念式典の状況について、当時出席された役員から以下の情報を提供いただいた。OB の先生が多数出席され立食形式でカジュアルな雰囲気のなか開催されたとのことであった。
- ・ 前回の次第を参考に企画担当者らで引き続き検討を行う。

創立 30 周年記念式典

日 時 2014 年 11 月 11 日(火)17:30～20:30

(第 59 回日本未熟児新生児学会学術集会 2 日目 梶原真人会長@松山)

記念講演会 ひめぎんホール 真珠の間 17:30～19:00 司会：中村 友彦

1. 開会挨拶 新生児医療連絡会会長 中村 友彦

2. 記念講演

「内藤先生から託された夢へのバトン」 仁志田博司

「30 年の新生児医療を振り返って―連絡会の視点から」 藤村 正哲

「これからの日本新生児医療の未来への提言」 日下 隆

祝賀会 ひめぎんホール レストラン「オレンジ」 19:00～20:30

1. 開会挨拶 新生児医療連絡会事務局長 和田 和子

2. 来賓祝辞 厚生労働省医政局地域医療計画課

救急・周産期医療等対策室室長 西嶋 康浩

3. 乾 杯 多田 裕

4. 歴代会長、事務局長挨拶

5. 閉会挨拶 日本未熟児新生児学会理事長 楠田 聡

6. 新生児医療体制のグランドデザイン策定への提言（杉浦 弘）

2026 年 1 月に執行部が厚生労働省医政局を訪問し、新生児医療体制等について議論を行った。集約化という点は一致していたが、厚生労働省もどう集約化していくことがよいのか、課題が多く現時点で打ち出せる方向性がない状態であった。

新生児医療連絡会としては、今後も安全で質の高い分娩と新生児医療提供のためにグランドデザインを国と新生児科医療チームで描くことが必要だと考えている。2030 年に第 9 次医療計画が始まる。2028 年度末までには国から県に方針を伝え、2029 年度に県が地域医療計画を策定する経過に、新生児医療連絡会として各県の意見をまとめ、グランドデザインの根拠を提言できないか役員会での議論をスタートする。

・議事録は別紙に取りまとめた。